

シリーズ
第2回

自分のため、みんなのための多世代共生型コミュニティづくり

地域協創のすすめ

☎(338)6813、☎(337)7658

市は、多世代がゆるやかにつながり、互いに助け合い、支えあう地域社会づくりを目指して、「市民・地域と行政との新たな協働のしくみ(地域協創)」を検討しています。このシリーズでは、地域でのさまざまなつながりをきっかけに困り事が解決したり、地域が興味のあることに挑戦する場となったりした事例を織り交ぜながら、安心して、楽しく暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

Q 地域とのつながりを持つことになったきっかけは何ですか？

災害時のペットとの同行・同伴避難について、自分の住んでいる地域の方と話す場が欲しいと思ったことがきっかけです。

Q 地域で活動するにあたり苦労したことはありますか？

自宅エリアでの自治会活動が少なく、地域への入り方が分からず苦労しました。たまたま目にした多摩市若者会議に参加して、多くの出会いがありました。興味を持たれた方は、ぜひ参加してみませんか？

多摩市若者会議とは？

多摩市を、若者・子育て世代にとって魅力的なまちにするためのアイデアや企画を立案・実践する集まりです。

詳細はこちら▼



今回は、自身の「やりたいこと」をきっかけに地域参画した事例として、仕事と子育てをしながら、地域活動をしている坂本さんのインタビューをお届けします！

ペットと一緒に安心して暮らせる地域にしたい！



さかもと なな 坂本 七奈さん

多摩市在住歴 7年目

職業 動物看護師

Q 活動を通して得たものは何ですか？

多摩市若者会議をはじめ、地域の方と関わることで、「同行・同伴避難」だけではなく、自分や仕事仲間では出てこない「在宅避難」などの新しい考えが聞けたことです。

地域とつながることで、次から次へとやりたいことが生まれてとても刺激になっています。

Q 今後やってみたいことはありますか？

動物と暮らしているけれど、自分だけでは満足にケアをしてあげられない状況の方と、動物と暮らしたいけれど、事情により一緒に暮らせない方とのマッチングなど、人と人をつなぐことで困り事を解決していきたいです。



地域協創について

市は、新たな協働のしくみ(地域協創)を検討するため、市内4つのモデルエリアでさまざまな取り組みを実践しています。多摩市若者会議が設立した合同会社MichiLabは、モデルエリアの諏訪・青陵各中学区で、イベントを企画・開催したり、既にある地域の活動の伴走支援をすることで、地域を【支える】実践的な試行を行っています。

詳細はこちら▼



Vol.2

現在、多摩センターエリアで建設中の中央図書館は、多摩中央公園に面し、パルテノン多摩と隣接した敷地に地上2階・地下2階建てで、令和5年7月の開館を予定しています。

☎図書館本館 ☎(373)7955、☎(375)9459



ラーニングcommons

中央図書館には、図書館としての機能の他に、さまざまな学びや活動に対応する新しいスペースがあります。今回は「ラーニングcommons」と「ステッププラザ」、「サテライトカウンター」をご紹介します。

●ラーニングcommons

中央図書館の2階は、多摩中央公園に面した賑わいのある「広場系」フロア。その北側の開放的なエリアに「ラーニングcommons」を整備します。可動式の机を自由に組み合わせて、個人の読書からグループ学習まで、用途に応じて利用できます。ホワイトボード付き書架の配置や無料Wi-Fiで、創造的な学習を支援します。

●ステッププラザ

館内中央にステッププラザを整備します。レンガ坂に面した1階と多摩中央公園に面した2階をつなぎ、各階の出入口正面に配置することから、「通り抜け空間」の役割もあります。エスカレーターも併設し、便利な移動をサポートします。

階段横の段差をベンチ代わりに利用すれば、講演会などのイベント会場にもなります。



サテライトカウンター

●サテライトカウンター

各階のメインカウンターとは別に、複数のサテライトカウンターを設置し、読書や調べものの案内、テーマ別の図書展示などで利用者の欲しい情報をスムーズに提供します。カウンターとしての用途以外にもミニ講座の開催などもできます。



ステッププラザ



屋根部分の工事が進んでいます！

令和4年9月16日撮影

